

宍道湖流入・流出水調査月報

(平成13年9月期)

水質概要

9月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層25.3、中層26.7、下層24.8)と比較してほぼ平年並の変動であった。図1に示すように、9月の水温変動は22~27で変動しており、下旬に向かうにつれ徐々に水温下降が見られた。9月21日以降は、上層・中層・下層ともに2~3の低下が見られた。水深による顕著な差異は見られなかった。高塩分水流入時に中層・下層の水温が1程上昇していた。このことは、大橋川を通じて中海からの湖水が流入していることを示す。9月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層6.8psu、中層8.2psu、下層10.2psu)に比べて、低い値での変動であった。また、9月においては15psu以上の高塩分水の流入は2日しか観測されなかった。9月観測においては、高塩分水の遡上がほとんど見られなかった。9月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層・中層・下層ともに3.9~5.4mg/lの変動であった。(平均値:上層4.3、中層:5.3、下層:4.1mg/l)。顕著な貧酸素水の流入は、見られなかった。図1に示すように、15psu以上の高塩分水の流入時に溶存酸素濃度の低下が見られた。

表1 9月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		()	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	26	4.2	4.1
	中層	26.1	5.4	5.1
	下層	25.9	5.7	3.9
中旬	上層	24.9	2.7	4.4
	中層	25	2.9	5.4
	下層	24.8	2.9	4.2
下旬	上層	22.7	4.3	欠測
	中層	22.8	4.8	5.4
	下層	22.6	4.9	4.1
月間平均 (9月)	上層	24.5	3.7	4.3
	中層	24.6	4.4	5.3
	下層	24.5	4.5	4.1

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

水質

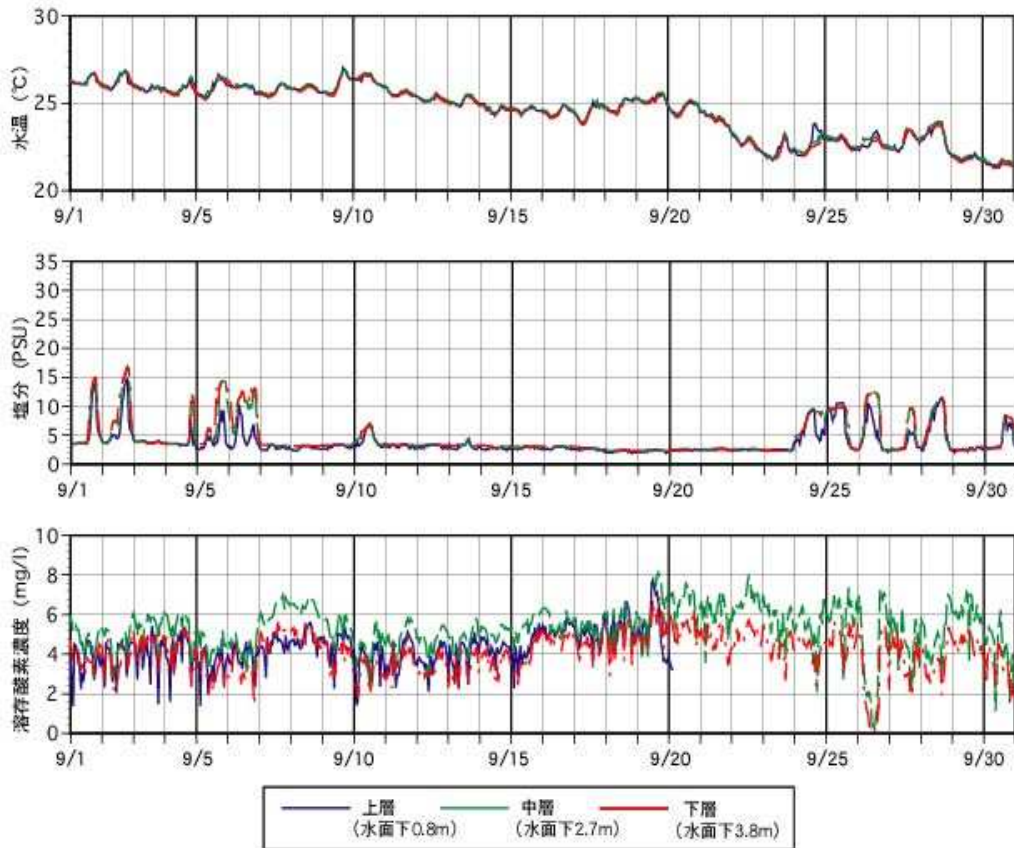


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

気象概況

図2に示すように、9月の顕著な気圧変動は、9月6日、11日において急激な低下が見られた。全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1010.6hPaは、平年値(平年値1012.7hPa)と比較して若干低かった。表2に示すとおり、9月の日射量は、0.0878MJ/m²であり、8月と比較して若干低い値を示していた(8月平均値:、0.1212MJ/m²)。9月の風向・風速は、平均風速0.9m/sec(平年値2.9m/sec,東風)であり、若干低い値を示していた。

表 2 9月期の気象概要

	気温 ()	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m2)
上旬	23.7	1007.8	1.2	東南東	0.077
中旬	22.5	1009	1.2	南南東	0.0902
下旬	19.9	1014.9	0.5	東南	0.0962
月間平均 (9月)	22	1010.6	0.9	東南	0.0878

(平年値は、平成 11 年気象の暦 (山陰版) (財) 日本気象協会中国センターより引用)

(表中の数字は、平均値を示す)

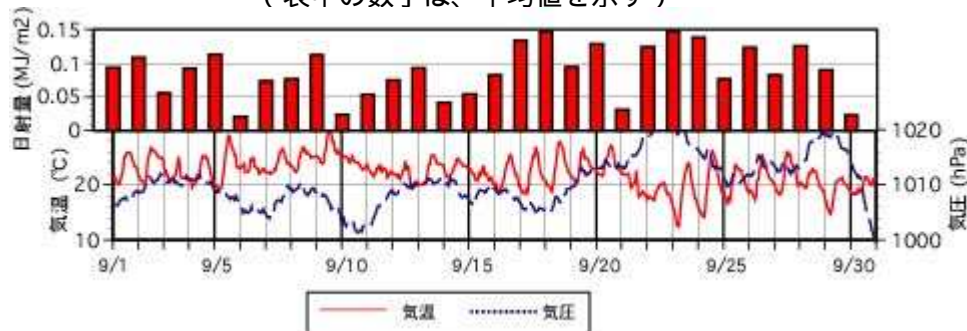


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

流況

9月の平均東方流速は、上層 1.9cm/sec、中層 19.8cm/sec、下層 19.1cm/secであった。9月の東方流速は、潮汐による往復流は見られるものの、高塩分水との遡上の関係とは相関がみられなかった。これは宍道湖水位が中海水位より高く、塩水の遡上は流れではなく、水位によって妨げられていたものと考えられる。

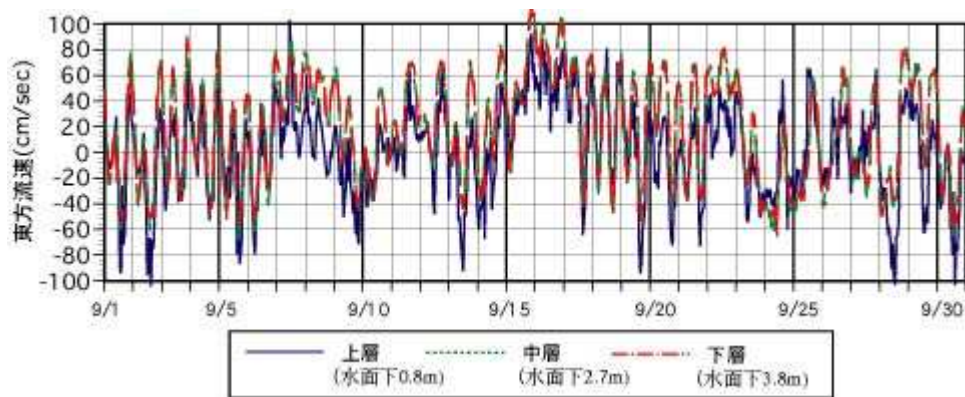


図 3 東方流速の時系列変化